◆著者紹介

横藤田　誠（よこふじた　まこと）　広島大学名誉教授

［執筆担当］
第１～３講，第６～８講，第12～14講
［主要著書］
『法廷のなかの精神疾患――アメリカの経験』（日本評論社，2002年）
『精神障害と人権――社会のレジリエンスが試される』（法律文化社，2020年）
『謎解き　日本国憲法』（共著，有信堂，第1版 2010年，第2版 2016年）
『裁判所は「権利の砦」たりうるか』（編著，成文堂，2011年）

中坂恵美子（なかさか　えみこ）　中央大学文学部教授

［執筆担当］
第４講，第５講，第９～11講，第15～17講
［主要著書］
『難民問題と「連帯」――EU のタブリン・システムと地域保護プログラム』（東信堂，2010年）
『国際法入門――逆から学ぶ』（共著，法律文化社，第1版 2014年，第2版 2018年，第3版 2022年）
『日本の法』（共著，日本評論社，第1版 2017年，第2版 2020年，第3版 2025年）
『開かれた入管・難民法をめざして――入管法「改正」の問題点』（共著，日本評論社，2024年）